



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

クウェイト：ムハンマド副首相兼外相の訪日

(6月3日付現地各紙)

6月3日付現地各紙は、2日に行われたムハンマド副首相兼外相の訪日について報じている。概要は以下のとおり。

1. 2日、ムハンマド副首相兼外相は、鳩山総理大臣（当時）や岡田外務大臣との協議及び第1回日・クウェイト政府間合同委員会のクウェイト側代表団団長を務めるため、日本を公式訪問した。
2. 同日、ムハンマド副首相兼外相は鳩山総理を表敬し、二国間関係強化のため意見を交わすと共に、国連安保理非常任理事国としての日本の役割の重要性等について述べた。また、ムハンマド副首相兼外相は日本にとってもクウェイトは重要であること、外交関係樹立以来50年間、5人のクウェイト首長が目当たりしてきた二国間関係深化を今後も続けていかなければならないと述べた。さらにイラン核問題やイラク情勢、中東和平等についても意見を交わした。
3. 同副首相兼外相は、サバーハ首長発天皇陛下宛親書及びナーセル首相発鳩山総理宛親書を鳩山総理に手渡し、外交関係樹立50周年の節目にクウェイトを訪問頂きたいと伝えた。これに対し同日すでに辞任を発表していた鳩山総理は謝辞を述べると共に、後任の新総理に引き継ぐと述べた。
4. 同日、クウェイト側はムハンマド副首相兼外相、日本側は岡田外務大臣及び高橋経済産業政務官の共同議長の下で、第1回政府間合同委員会が開催され、ムハンマド副首相兼外相は同合同委員会の重要性を強調し、2011年の国交樹立50周年を前に第1回会合が開催されたことを歓迎すると述べた。岡田大臣も会合の開催を歓迎すると述べるとともに、同委員会が二国間の重層的な関係の構築に寄与することを期待すると述べた。早期締結の必要性を確認すると共に、原子力、水、医療ツーリズム、再生可能エネルギー、環境等幅広い分野で協力での拡大で一致し、共同声明への署名を行った。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799